



SHIKKUI
KURUMU-UCHI

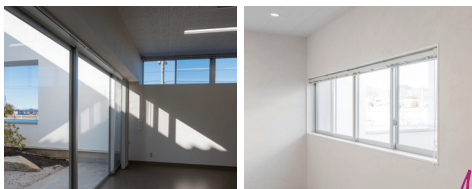


安全・安心 すぐれた機能

内装上塗り用漆喰

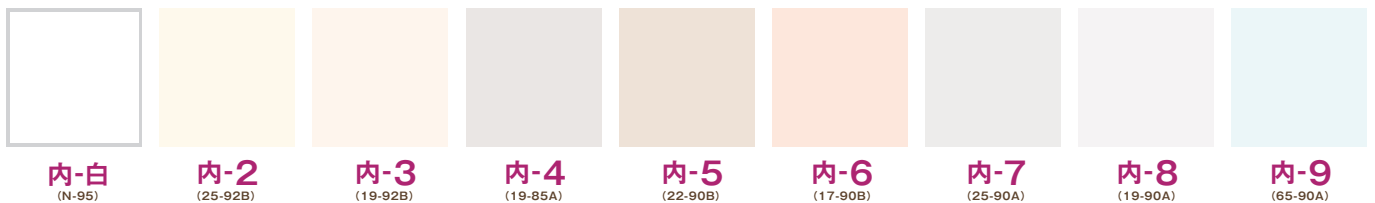
漆喰くるむ[®]内

SHIKKUI KURUMU-UCHI



Made in Japan

カラーラインナップ



上記カラーは印刷のため、実際の色調と異なります。採用の際は、実際の色見本帳をご確認ください。

漆喰くるむ 内は自然素材のため、多少の色幅があり、施工下地・仕上げ方により色・表情が多少異なります。カラー名表示下()内の内番号は、日塗工近似色番号です。

標準仕様										
商品名	用途	適用部位	標準塗り厚	適応下地	石膏プラスターボード せっこうプラスター ビニルクロス 合板	下塗り	マルチベース NP-α	荷姿・性状	施工面積	正味
漆喰くるむ 内	内装 上塗り用漆喰	内壁 天井	約1.0mm					ベースト [※] 顔料 [※] (プラスチック缶) (ボトル缶)	約12㎡/缶	ベースト 18kg

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1502025
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

施工についての詳細は裏面と施工要領書をご確認ください。

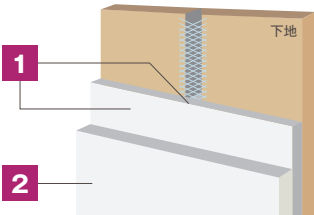
※カラー名 内-白に顔料はつきません。

石膏プラスターボード下地の施工方法

ベベルエッジボード、
テーバーエッジボードを使用する場合

事前の確認

石膏プラスターボードの貼り方が万全でない、継ぎ目からひび割れの発生する恐れがあるため、ボードが正しく貼られているか事前に確認してください。その後、石膏プラスターボード表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。



1 マルチベースで目地処理・下塗り

マルチベース1袋(20kg)に対して清水6.5ℓを入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。石膏プラスターボードの継ぎ目部にマルチベースをしっかりと埋め込んだ後、ファイバーテープを貼り付けてください。さらにその上にマルチベースをこすり付けるように塗り付け、ファイバーテープとなじませてください。また、石膏プラスターボードに打ち込んだ釘頭にも、マルチベースをこすり付けるように塗り付けてください。

目地処理後、2時間以上おいてから、下塗りが可能です。

マルチベース1袋(20kg)に対して清水7.5ℓを入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。マルチベースで下ごすりをを行い、追っかけて所定の塗り厚(1.5mm)まで塗り付けてください。その後、水引きを見て金ゴテで平滑に押さえてください。※下塗りの翌日以降(寒冷期は3日以上)、上塗りを行ってください。※出隅等で、石膏プラスターボードの切断面が露出した場合は、NPシーラック3倍液(NPシーラック1:2:清水)を塗布して乾燥させてください。

2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。

(カラー名:内・白の場合)



液体顔料との
練り混ぜなし

(カラー名:内・白以外の場合)



漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで3分以上攪拌し、
均一に混ぜる

漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

3 養生 施工後は、窓を開けるなど、できるだけ通風に心がけてください。扇風機等を回すと乾燥が促進され、乾燥の遅い場合に有効です。

ビニールクロス下地の施工方法

下地の処理

事前に下地表面のほこり・汚れを除去してください。



1 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。

(カラー名:内・白の場合)



液体顔料との
練り混ぜなし

(カラー名:内・白以外の場合)



漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで3分以上攪拌し、
均一に混ぜる

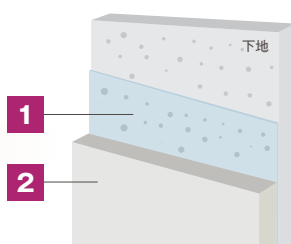
漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、追っかけて上塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

2 養生 施工後は、窓を開けるなど、できるだけ通風に心がけてください。扇風機等を回すと乾燥が促進され、乾燥の遅い場合に有効です。

せっこうプラスター下地の施工方法

1 下地の清掃・シーラー塗布

表面のほこり・汚れを除去した後、NPシーラック3倍液(NPシーラック1:2:清水)を刷毛等で下地面全面にムラなく塗布し乾燥させてください。



2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



(カラー名:内・白の場合)
液体顔料との
練り混ぜなし



(カラー名:内・白以外の場合)
漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで3分以上攪拌し、
均一に混ぜる

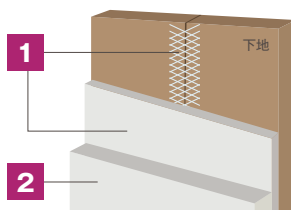
漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、追っかけて上塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

3 養生 施工後は、窓を開けるなど、できるだけ通風に心がけてください。扇風機等を回すと乾燥が促進され、乾燥の遅い場合に有効です。

合板下地の施工方法

事前の確認

合板の貼り方が万全でない、継ぎ目からひび割れが発生する恐れがあるため、合板が正しく貼られているか事前に確認してください。合板表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。



1 NP-αで継ぎ目処理・下塗り

合板の継ぎ目・出隅・入隅にファイバーテープを貼り付けてください。その後、合板全面に「NP-α(アルファ)」を塗り付けてください。

※下塗りを行った後、乾燥具合を見て、継ぎ目やビス頭をはねてください。頭をはねる目安の時間は、塗り付け後、30分~1時間程度です。(季節や施工環境により変わります)。
※合板の種類や状態によっては、アクや汚れが浮き出し、部分的に変色することがあります。その際は、そのまま1~2日放置してから、NP-α(アルファ)により塗り重ねを行うことでアクや汚れは消えます。

2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ 内1缶に対して、所定の液体顔料1本を入れ、ハンドミキサーで3分以上攪拌してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



(カラー名:内・白の場合)
液体顔料との
練り混ぜなし



(カラー名:内・白以外の場合)
漆喰くるむ 内1缶 に 液体顔料1本
ハンドミキサーで3分以上攪拌し、
均一に混ぜる

下塗りを塗り付けた翌日以降、漆喰くるむ 内で下ごすりを行った後、追っかけて上塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

3 養生 施工後は、窓を開けるなど、できるだけ通風に心がけてください。扇風機等を回すと乾燥が促進され、乾燥の遅い場合に有効です。

施工後、強い風を塗り付け面に直接当てると、ひび割れが発生しやすくなるので注意してください。施工の詳細は、漆喰くるむ 内の施工要領書をご確認ください。カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対にしないでください。

JIS A 6909(建築用仕上塗材)による試験結果

試験項目	漆喰くるむ 内	品質基準*1	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れなし	ひび割れないこと	
耐衝撃性	ひび割れ、著しい変形及び剥がれがない	ひび割れ、著しい変形及び剥がれないこと	
付着強さ(標準養生)(N/mm)	モルタル下地	1.0	0.3以上
	石膏プラスターボード下地	0.3 基板破壊	参考データ
耐アルカリ性(A性)	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出なし 浸さない部分に比べて、著しくもろり及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出がないこと 浸さない部分に比べて、著しくもろり及び変色がないこと	
吸放湿量(g/m)	91	70以上	

*1:内装薄塗材

記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

お問い合わせは

施工上のご注意

■気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。■本製品保管の際は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。■本製品は既調合品であるため、現場での練り混ぜ及び水を足しての練り直しは絶対に行わないでください。■施工前には必ず試し塗りを行い、パターンの付け方、仕上がり、および、乾燥具合の確認を行ってください。■本製品は自然素材です。塗り方、気象条件、製造ロットなどによっては、若干色差の出る場合があります。■冬期・梅雨期など、気温が低く、湿度が高い条件では白華現象が生じやすいため、シート養生など適切な処置を必ず行ってください。■極端にパターンに凹凸がある場合、また気温・温度・風などの施工環境によっては、ひび割れが発生する恐れがあるため注意してください。■製造年月日を確認し、製造日から12カ月以上のものは使用しないでください。■材料が余った場合は、表面が空気に触れないように付属のラップフィルムを余った材料の上のせ、容器を密封して凍結しない冷暗所で保管してください。



日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851
東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048
西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032